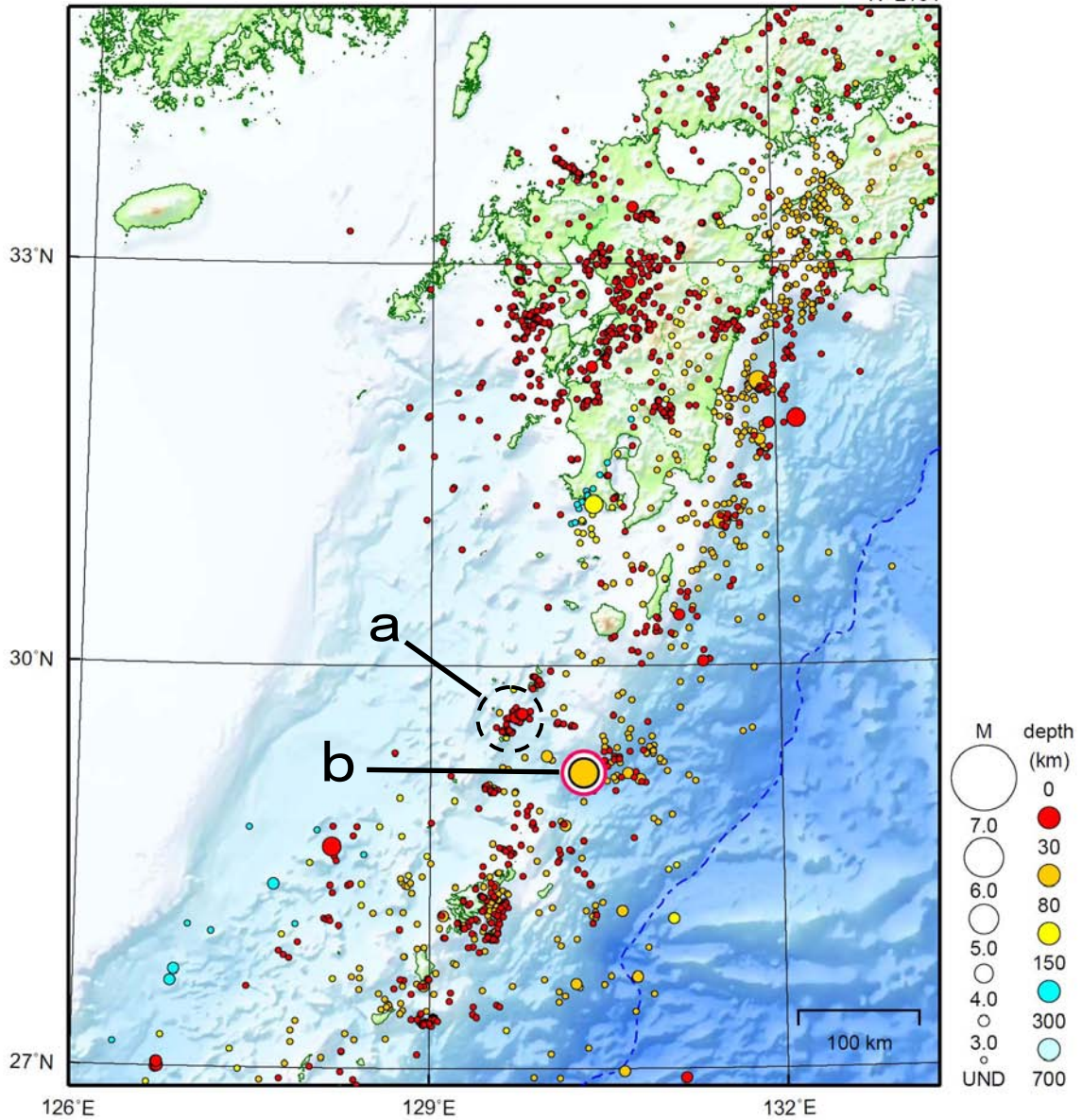


九州地方

2011/02/01 00:00 ~ 2011/02/28 24:00

N=2184



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

a) 2月3日から諏訪之瀬島の近海で、M3.7の地震（最大震度2）を最大とする、まとまった地震活動があった。

気象庁はこの地震に対して[トカラ列島近海]で情報発表した。

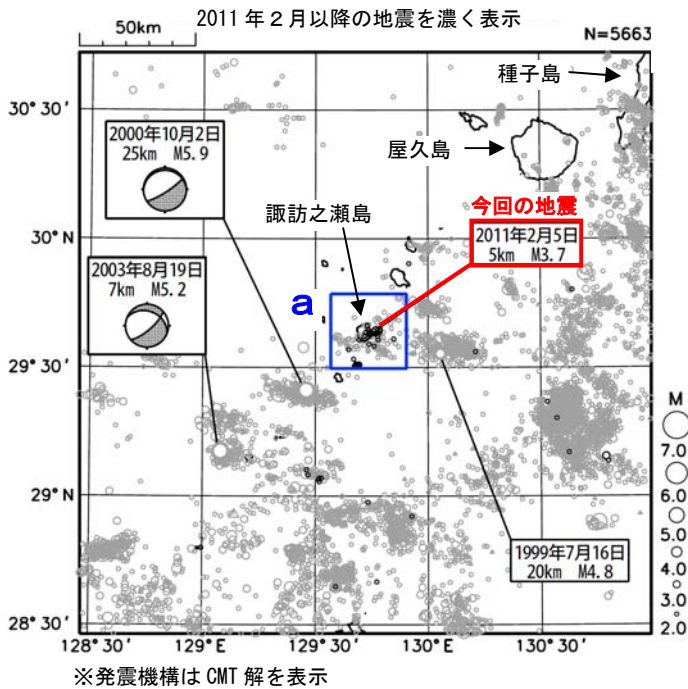
b) 2月4日に奄美大島北東沖でM5.0の地震（最大震度3）が発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

諏訪之瀬島近海の地震活動

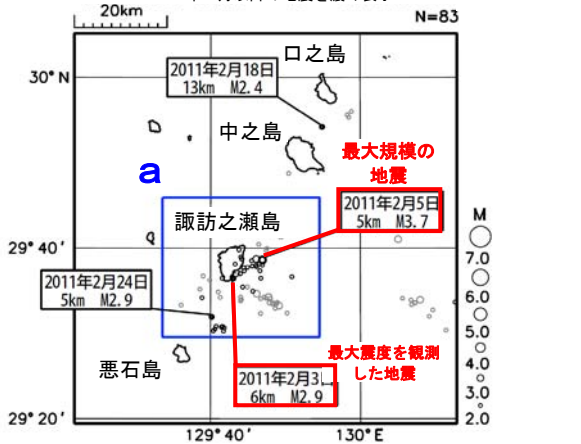
気象庁はこの地震に対して〔トカラ列島近海〕で情報発表した。

震央分布図(1997年10月1日～2011年2月28日、深さ0～40km、 $M \geq 2.0$)

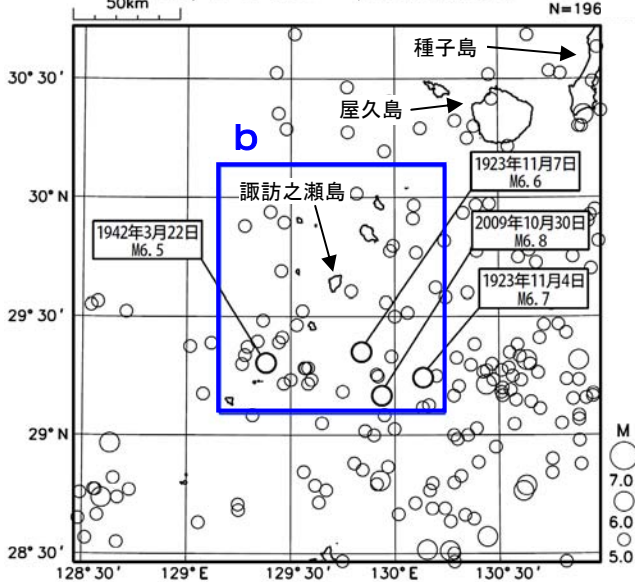


諏訪之瀬島周辺の拡大図

(2010年8月1日～2011年2月28日、深さ0～40km、 $M \geq 2.0$)



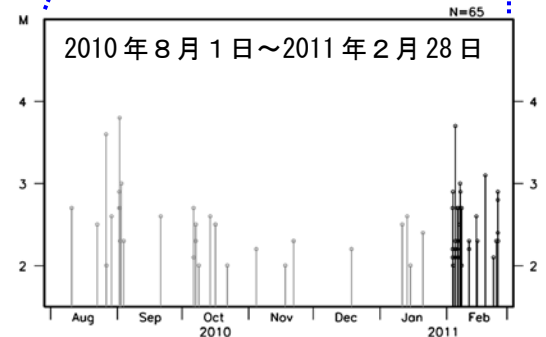
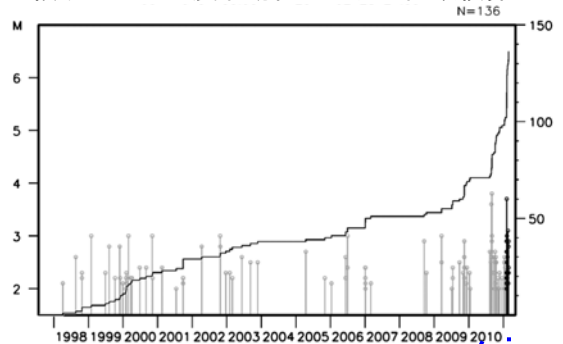
震央分布図(1923年8月1日～2011年2月28日、深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)



2011年2月3日から諏訪之瀬島の近海でまとまった地震活動があった。最大規模の地震は5日00時01分に発生した $M 3.7$ の地震(最大震度2)であった。最大震度を観測した地震は3日22時06分に発生した $M 2.9$ の地震(最大震度3)であった。震度1以上を観測した地震は18回発生したが、25日以降、発生していない。

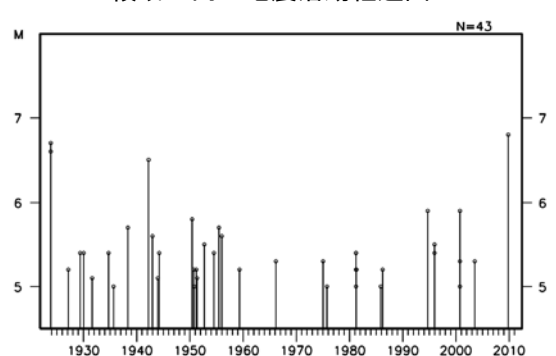
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域a)では、時々、小規模の地震活動が発生する程度で、今回のようなまとまった活動は発生していなかった。

領域a内の地震活動経過図及び回数積算



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域b)では $M 6.0$ 以上の地震が4回発生している。2009年10月30日に発生した $M 6.8$ の地震(最大震度4)では、最大の高さ18cmの津波を観測した。

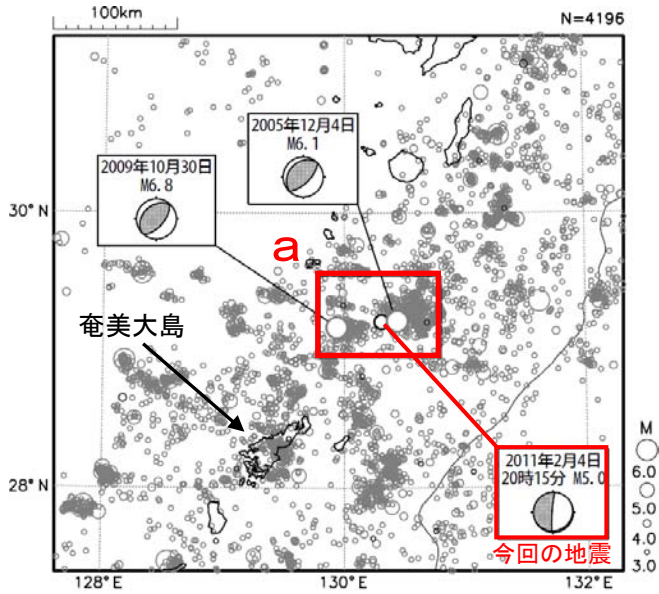
領域b内の地震活動経過図



2月4日 奄美大島北東沖の地震

震央分布図 (1997年10月1日~2011年2月28日、 $M \geq 3.0$ 、深さ0~100km)

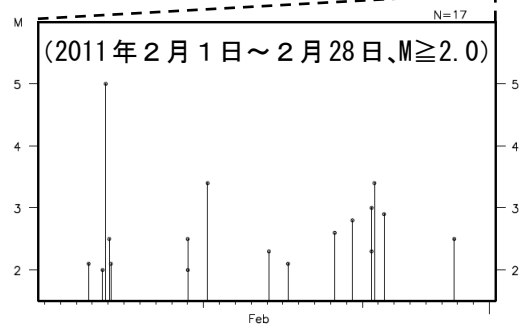
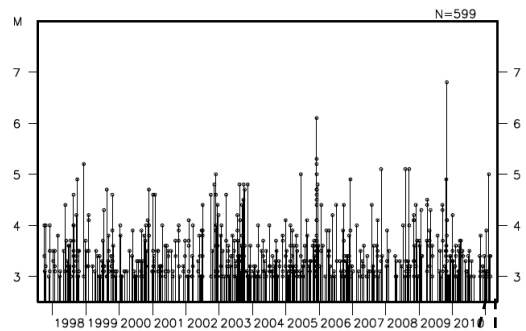
2011年2月以降の地震を濃く表示。発震機構はCMT解。



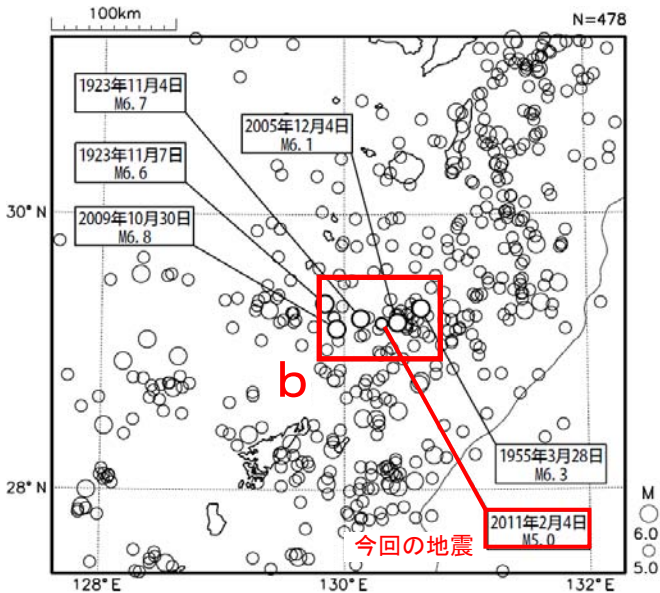
2011年2月4日20時15分に奄美大島北東沖でM5.0の地震 (最大震度3) が発生した。発震機構 (CMT解) は東西方向に張力軸を持つ型であった。余震活動は低調である。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近 (領域a) では、2005年12月4日にはM6.1の地震 (最大震度3) が、2009年10月30日にはM6.8の地震 (最大震度4) が発生している。

領域a内の地震活動経過図



震央分布図 (1923年8月1日~2011年2月28日、 $M \geq 5.0$ 、深さ0~100km)



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近 (領域b) では、M6.0以上の地震が時々発生している。

領域b内の地震活動経過図

